

# 活動報告書 7月号

2022.6.30

## モーニングセミナーピックアップ

6月18日 寺田 貴詞 氏



「一度きりの人生に、真剣勝負できているか」  
モチベーショングラフというユニークな手法を用いて今までの自身の半生を紹介してくれた寺田貴詞会員。機能食品の研究者という夢に早々に見切りをつけ、キャッチのバイトで体得した営業スキルを活用し28歳で起業します。この若さで「人は鏡」だと痛感したと話します。

6月25日 三浦 健二郎 氏



「ぶれない軸を持つ」  
静岡市倫理法人会の三浦会長は、現在任期3年目で今回が会長としての最後の講話となりました。趣味のマラソン、お子さんのお弁当作り、そして三浦会長が学んだり体験してきた数々の名言の紹介。三浦会長のぶれない軸はこうして強化されてきたのだと分かる、素晴らしい内容でした。

## 他単会での講話



金井政秀 幹事  
5月26日  
沼津北倫理法人会

居初邦夫 運営委員  
5月31日  
浜松市南倫理法人会

## クリーン大作戦(6月19日)



次回の予定:  
7月17日(日)  
朝7:00~7:30

第3日曜日の朝7時から楽しく駅前清掃をやっていきます。来月もやります。7時から30分だけです。ホテルアソシア前に集合、開始です。誰でもお気軽にご参加ください。(平岡伸浩 幹事)

## 倫理実践・倫理体験報告



これまで約2年間、静岡県広報副委員長のお役に就かせて頂きました。役職上「倫理とは何か?」という問いを常に考えるようになりました。私が普段意識しているのは「打つ手は無限」という考えです。どんなことが起こっても「打つ手は無限」と認識していると、不思議と心が楽になり、積極的に目の前の状況を受け入れることができるようになります。そして絶望的な状況も必ず脱出できるのです。ですから、「倫理とは何か?」と他人から問われたら、私は(芥川龍之介の小説になぞらえて)「追い込まれた時の救済となる『蜘蛛の糸』だ」と答えます。ぜひ、皆さんにも「最悪な状況になった時の救済になる」倫理の学びを大切にしてもらえたらと思います。(藤永祐太郎 静岡県広報副委員長)

配布責任者 三浦 健二郎